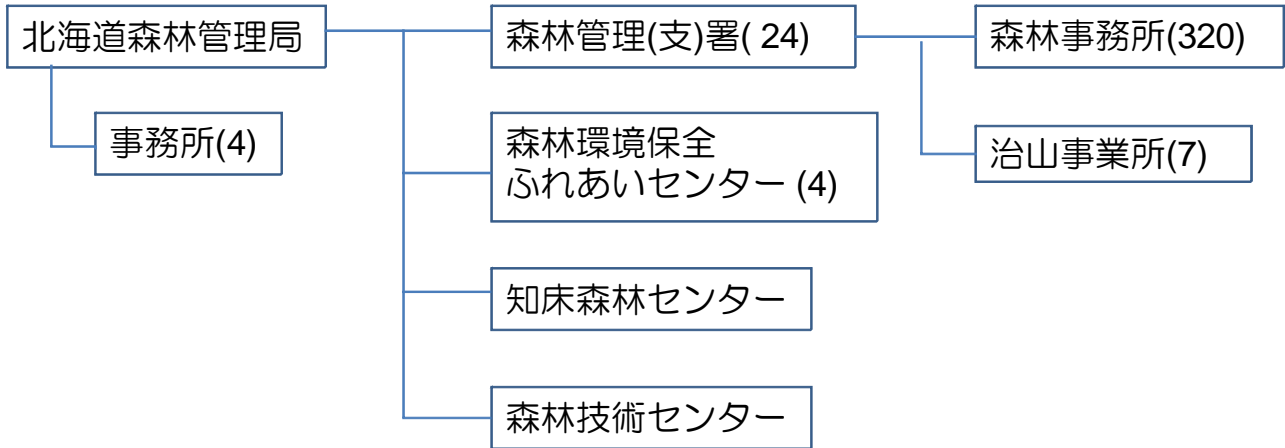


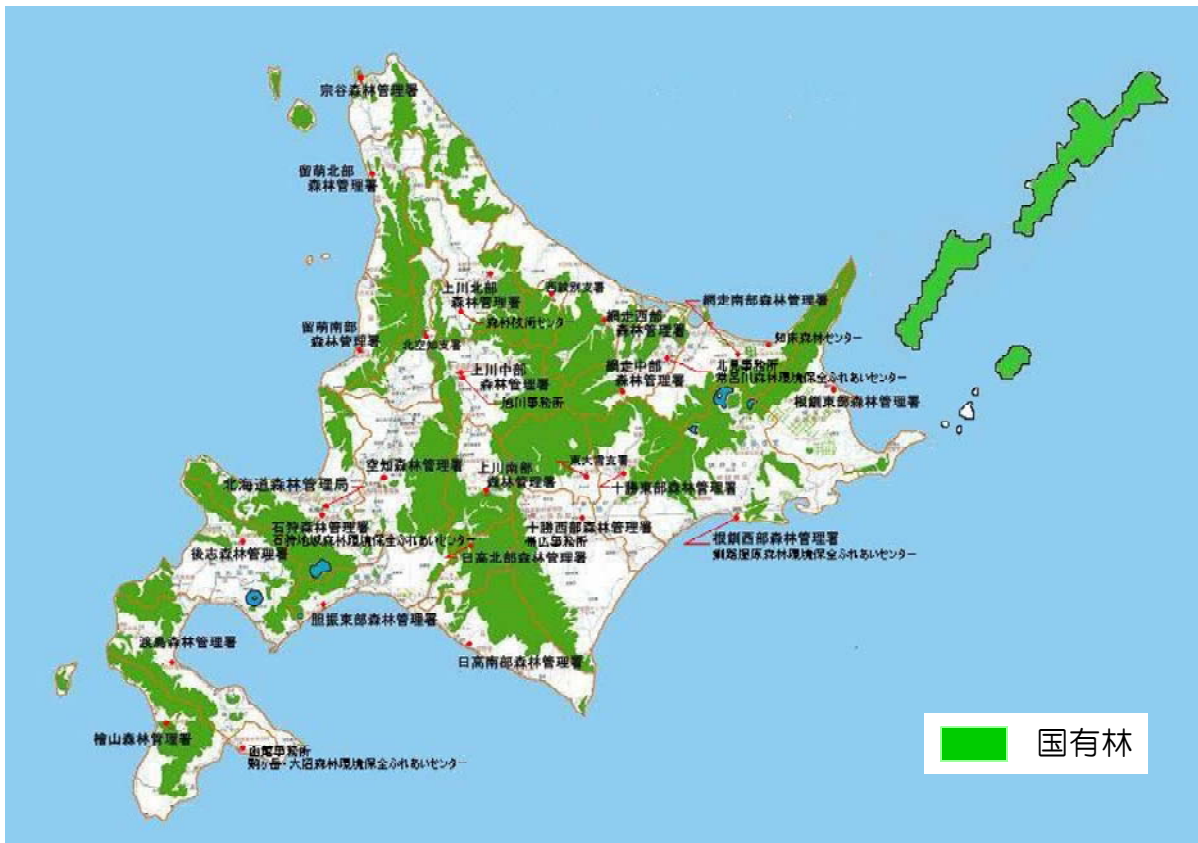
5 国有林の事業運営

(1) 管理経営の事業実施体制

北海道森林管理局では、24 の森林管理（支）署、320 の森林事務所などを通じて、北海道内の 307 万 ha の国有林野の管理経営を進めています。



○ 北海道森林管理局の組織



(2) 森林・林業技術の開発・普及

北海道森林管理局では、北海道にふさわしい森林・林業技術の開発や普及に取り組んでいます。開発した技術は、国有林の管理経営に活かすとともに、現地検討会などを通じて、地域の森林・林業関係者などへの普及に努めています。

森林技術センターの活動

森林技術センター（士別市）では、森林・林業関係者の視察や研修の受け入れを通じ、開発した技術の普及にも取り組んでいます。

平成 20 年 10 月には、北海道庁や大学などの森林・林業関係者を対象に現地見学会を開催し、森林技術センターの試験地の視察や意見交換を行いました。関係機関の連携強化や技術の向上が図られるとともに、今後の施業に活用していくこととしています。



現地見学会の様子

実施場所：士別市（上川北部森林管理署管内朝日国有林）

森林施業に関する「モデル林」の設定とPR

根釧西部森林管理署（釧路市）では、カラマツ資源の持続的供給を目指す観点から、上層カラマツ-下層カラマツの複層林造成に向けた森林施業に取り組んでいます。

この施業技術確立のため、管内のパイロットフォレスト^{*1}において上層カラマツ-下層カラマツの複層林施業試験地「モデル林」を設定し、平成20年5月に植付を行いました。

平成20年6月には、これらの一連の取組みについて地域へ発信するため、「モデル林」を活用し地域住民の皆さんが植樹や森林浴などを行う体験型のイベントを開催したほか、モデル林を見学を訪れる道内外の林業関係者などへの現地案内を行い、取組みのPRを行っています。



試験地への植樹の様子



森林浴の様子

実施場所：厚岸町（根釧西部森林管理署管内太田国有林）

*1 パイロットフォレストとは、北海道東部、釧路市から北東に約50km、厚岸湖に注ぎ込む別寒辺牛川の上・中流域に位置する国有林のうち、計画的に森林を造成してきたカラマツ人工林を主体とする約1万haの区域。

「北の国・森林づくり技術交流発表会」の開催

北海道森林管理局では、森林・林業に係る技術情報等の交換を図るため、平成21年1月29日から30日の2日間にわたり、森林管理局大会議室において、「北の国・森林づくり技術交流発表会」を開催しました。

森林管理署等をはじめ、自治体、高校、NPOなどから計21課題の発表が行われ、森林技術部門の北海道森林管理局長賞には、カラマツ人工林の資源保続を図るため省力化と経費を抑えた天然更新による複層林造成の可能性を報告した十勝東部森林管理署の「天然下種更新によるカラマツ複層林の造成について」が選ばれ、森林ふれあい部門の北海道森林管理局長賞には、過去の環境教育活動の実施とアンケートの結果から、今後の課題や現在求められている環境教育プログラムを検討し報告した知床森林センターの「知床における森林環境教育の推進について」が選ばれました。

また、高校部門の北海道森林管理局長賞には、ビオトープのすべての昆虫とクモ類を記録し、食物網をまとめ報告した札幌藻岩高校の『「チョウの飛ぶ校庭」ビオトープの昆虫相と食物網』が選ばれました。



技術交流発表会の様子

実施場所：札幌市（北海道森林管理局）